

市内の企業における社会貢献・CSR活動 に関するアンケート調査報告書

令和6年4月

社会福祉法人 市原市社会福祉協議会

I 調査概要

1 調査目的

近年、少子高齢化やそれに伴う人口減少の進行等による社会構造の変化に加え、社会とのつながりの希薄化がコロナ禍によってさらに加速し、さまざまな生きづらさや暮らしづらさを抱える人、また、望まない孤独・孤立の状態にある人が増加するなど、地域生活課題が多様化・複雑化しています。

一方、地域福祉の現状は、活動の担い手不足が大きな課題となっており、これまでのような住民中心の組織だけでは、地域福祉活動を進めることが難しい状況になっています。この課題を解決していくためには、さまざまな立場の人々が主体的に地域福祉活動に参加していく意識を高め、行動していくことが大切であると考えます。

このアンケート調査は、これからの地域福祉や共生社会の実現に向けた取組を推進する主体のひとつとして期待されている企業を対象に、「社会貢献・C S R 活動」の取組状況や課題を調査・把握し、本会がこれらを基に企業と地域をつなぎ、その支援について検討していく参考とすることを目的に実施しました。

2 調査対象

市原市臨海部工場連絡会会員企業、市原商工会議所会員企業（従業員10名以上を雇用する企業） 計626社

3 調査方法

郵送法またはWEBによるアンケート調査

4 調査基準日

令和5年10月1日（日）現在

5 調査期間

令和5年11月17日（金）～12月20日（水）

6 回収率

送付先626社／回収89社／回収率14.2%

7 主な調査項目

- （1）企業の基本情報について
- （2）社会貢献・C S R 活動の取組の有無について
- （3）社会貢献・C S R 活動の取組内容について
- （4）従業員のボランティア活動への支援について
- （5）社会貢献・C S R 活動や従業員のボランティア活動支援における課題について
- （6）今後取り組むことができそうな社会貢献・C S R 活動について
- （7）市原市社会福祉協議会について

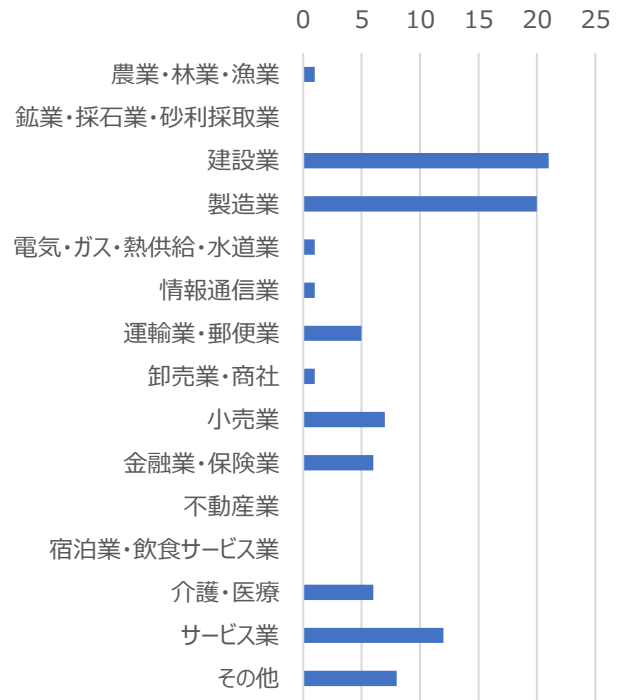
Ⅱ 調査報告

（１）企業の基本情報について

問 1-1 貴社の主たる業種についてご回答ください。

「建設業」が23.6%で最も割合が高く、2番目に「製造業」が22.5%、3番目に「サービス業」が13.5%でした。続いて、「小売業」、「金融業・保険業」、「介護・医療」からの回答が7%前後でした。

項目	回答数	割合
農業・林業・漁業	1	1.1%
鉱業・採石業・砂利採取業	0	0%
建設業	21	23.6%
製造業	20	22.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.1%
情報通信業	1	1.1%
運輸業・郵便業	5	5.6%
卸売業・商社	1	1.1%
小売業	7	7.9%
金融業・保険業	6	6.7%
不動産業	0	0%
宿泊業・飲食サービス業	0	0%
介護・医療	6	6.7%
サービス業	12	13.5%
その他	8	9.0%
合計	89	100.0%



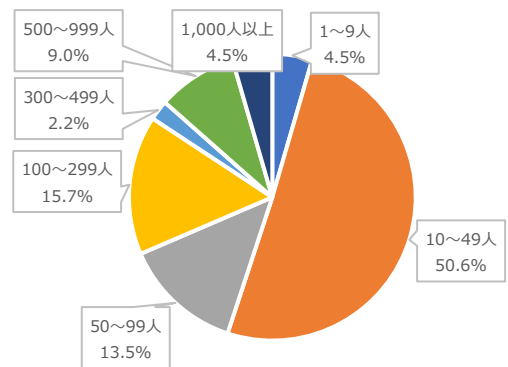
「その他」の回答内容

物品賃貸業／学校教育／経営コンサルタント（中小企業向け）／廃棄物処理業／非製造業／梱包業／技術サービス業／学童保育／工場内諸作業サービス

問 1-2 貴社の従業員数（非正規・パート・派遣職員を含む）についてご回答ください。

「10～49人」が50.6%で最も割合が高く、2番目に「100～299人」が15.7%、3番目に「50～99人」が13.5%でした。100人未満の企業が全体の68.6%を占めており、500人を超える企業は全体の13.5%でした。

項目	回答数	割合
1～9人	4	4.5%
10～49人	45	50.6%
50～99人	12	13.5%
100～299人	14	15.7%
300～499人	2	2.2%
500～999人	8	9.0%
1,000人以上	4	4.5%
合計	89	100.0%

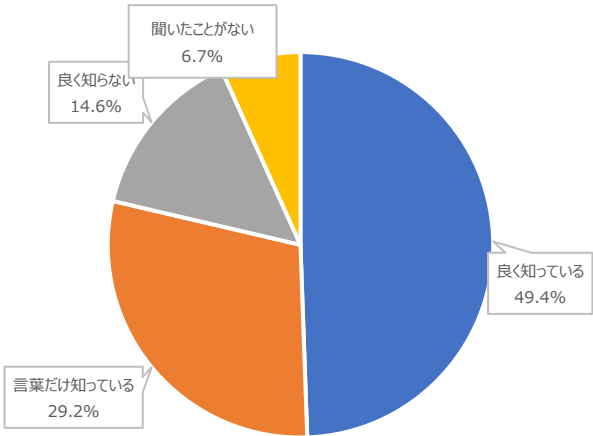


（２）社会貢献・ＣＳＲ活動の取組の有無について

問２-１ 「社会貢献・ＣＳＲ活動」という言葉を知っているか、ご回答ください。

「良く知っている」が４９．４％と最も割合が高く、２番目に「言葉だけ知っている」が２９．２％、３番目に「良く知らない」が１４．６％でした。「良く知っている」及び「言葉だけ知っている」の合計が全体の７８．６％を占めており、地域貢献・ＣＳＲ活動に対して各企業が高い関心を持っていることが伺える結果でした。

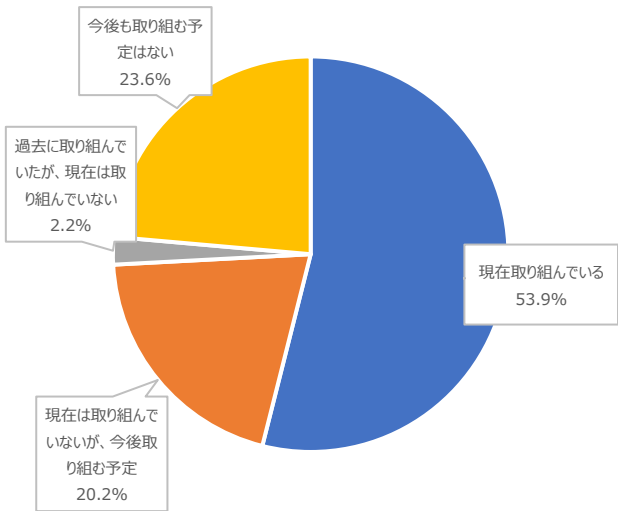
項目	回答数	割合
良く知っている	44	49.4%
言葉だけ知っている	26	29.2%
良く知らない	13	14.6%
聞いたことがない	6	6.7%
合計	89	100.0%



問２-２ 貴社の社会貢献・ＣＳＲ活動の取組状況についてご回答ください。

「現在取り組んでいる」が５３．９％と最も割合が高く、２番目に「今後も取り組む予定はない」が２３．６％、３番目に「現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定」が２０．２％でした。「現在取り組んでいる」及び「現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定」を合計すると、全体の７４．１％の企業が社会貢献・ＣＳＲ活動を行っている、または活動に向けて検討しているという結果でした。

項目	回答数	割合
現在取り組んでいる	48	53.9%
現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定	18	20.2%
過去に取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	2	2.2%
今後も取り組む予定はない	21	23.6%
合計	89	100.0%



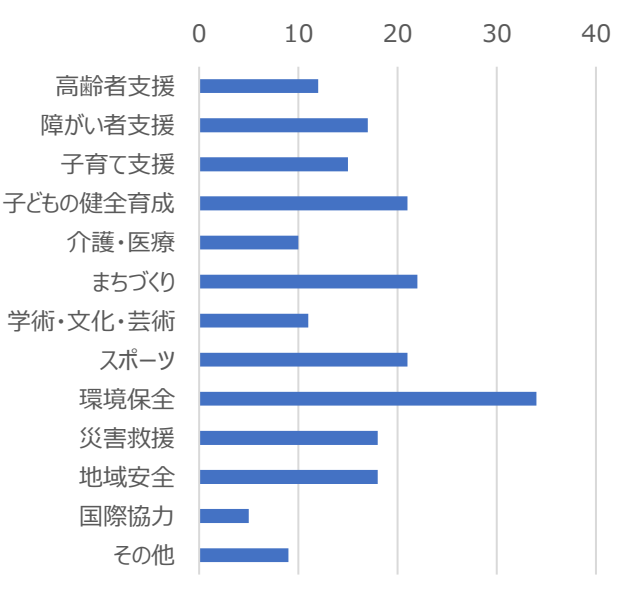
（３）社会貢献・ＣＳＲ活動の取組内容について

問３-１ 貴社として現在どのような社会貢献・ＣＳＲ活動に取り組んでいますか。または取り組む予定ですか。

（複数回答 N＝213）

「環境保全」が16.0%と最も割合が高く、2番目に「まちづくり」が10.3%、3番目に「子どもの健全育成」と「スポーツ」がそれぞれ9.9%でした。どの分野にも満遍なく回答があり、幅広く社会貢献・ＣＳＲ活動を行っている、または活動に向けて検討しているという結果でした。

項目	回答数	割合
高齢者支援	12	5.6%
障がい者支援	17	8.0%
子育て支援	15	7.0%
子どもの健全育成	21	9.9%
介護・医療	10	4.7%
まちづくり	22	10.3%
学術・文化・芸術	11	5.2%
スポーツ	21	9.9%
環境保全	34	16.0%
災害救援	18	8.5%
地域安全	18	8.5%
国際協力	5	2.3%
その他	9	4.2%
合計	213	100.0%



「その他」の回答内容

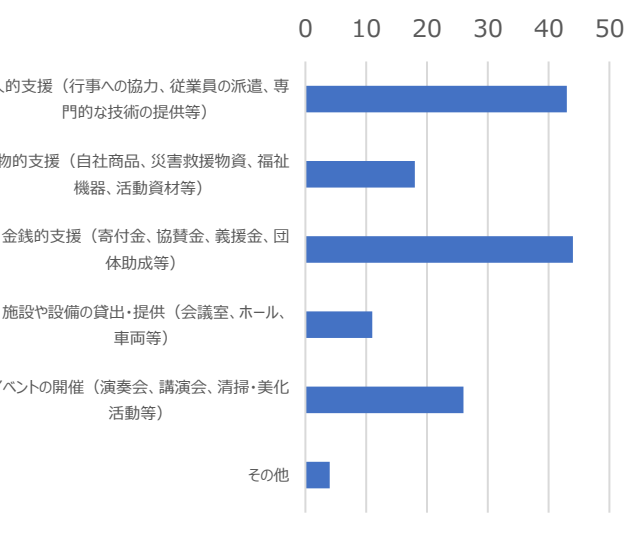
地域イベント参加、協賛/市原市へのゴーヤ苗の寄付/食品ロス、廃棄物の発生抑制、再利用/食品寄付/地域清掃/中小企業、小規模事業、創業支援/市原市と災害情報の放送に関する協定を締結、災害時の市原市からの情報発信力の強化に貢献/各種募金活動/まだわからない

問３-２ 貴社として問３-１で回答した社会貢献・ＣＳＲ活動をどのような方法で行っていますか。または

取り組む予定ですか。（複数回答 N＝146）

「金銭的支援」が30.1%と最も割合が高く、2番目に「人的支援」が29.5%、3番目に「イベントの開催」が17.8%でした。「金銭的支援」に「物的支援」と「施設や設備の貸出・提供」を加えると、全体の49.9%が間接的な社会貢献・ＣＳＲ活動に関する回答でした。

項目	回答数	割合
人的支援 （行事への協力、従業員の派遣、 専門的な技術の提供等）	43	29.5%
物的支援 （自社商品、災害救援物資、福祉 機器、活動資材等）	18	12.3%
金銭的支援 （寄付金、協賛金、義援金、団体 助成等）	44	30.1%
施設や設備の貸出・提供 （会議室、ホール、車両等）	11	7.5%
イベントの開催 （演奏会、講演会、清掃・美化 活動等）	26	17.8%
その他	4	2.7%
合計	146	100.0%



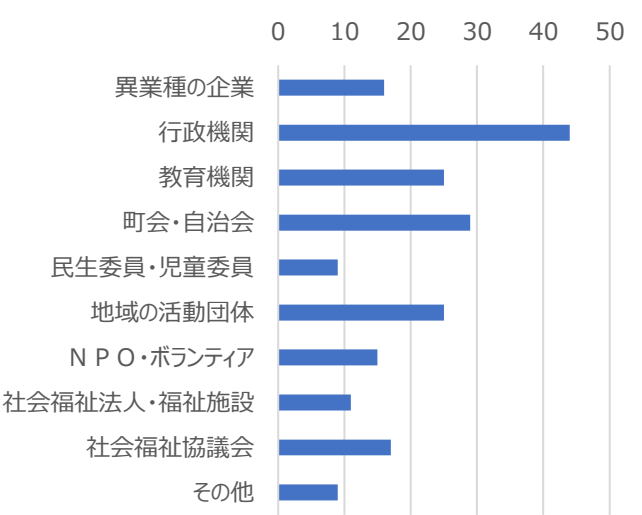
「その他」の回答内容

定期的な食品寄付/定期的な地域のごみ拾い清掃/コミュニティチャンネルでの災害情報発信/まだわからない

問 3-3 貴社として社会貢献・CSR活動に取り組むにあたり、今後連携・協働したいと思う団体についてご回答ください。（複数回答 N=200）

「行政機関」が22.0%と最も割合が高く、2番目に「町会・自治会」が14.5%、3番目に「教育機関」と「地域の活動団体」がそれぞれ12.5%でした。続いて、「社会福祉協議会」、「異業種の企業」、「NPO・ボランティア」が8%前後でした。

項目	回答数	割合
異業種の企業	16	8.0%
行政機関	44	22.0%
教育機関	25	12.5%
町会・自治会	29	14.5%
民生委員・児童委員	9	4.5%
地域の活動団体	25	12.5%
NPO・ボランティア	15	7.5%
社会福祉法人・福祉施設	11	5.5%
社会福祉協議会	17	8.5%
その他	9	4.5%
合計	200	100.0%

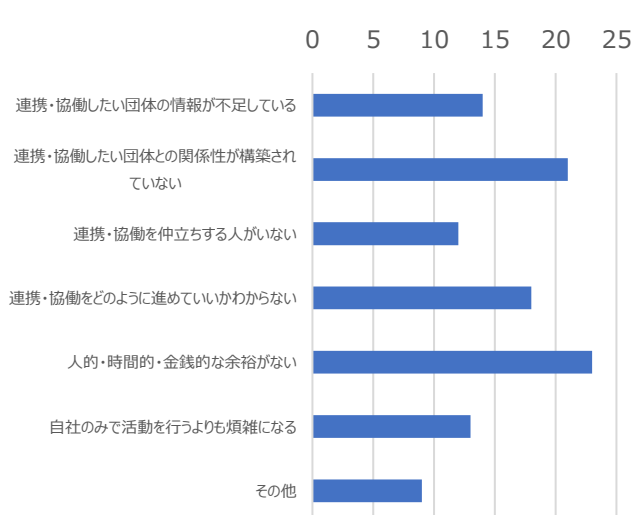


「その他」の回答内容
自社のバスケットボールチームでバスケットコーチングを実施/地域包括支援センター/商工会議所/市原市産業支援センター/日本財団/弊社のみ、所属組合/特になし（2）/まだわからない

問 3-4 貴社が問 3-3 で回答した団体と連携・協働するにあたり、課題と思われることについてご回答ください。（複数回答 N=110）

「人的・時間的・金銭的な余裕がない」が20.9%と最も割合が高く、2番目に「連携・協働したい団体との関係性が構築されていない」が19.1%、3番目に「連携・協働をどのように進めていいかわからない」が16.4%でした。社内体制に余裕がないとの回答とともに、多くの企業が他団体との連携・協働の仕組みづくりに苦慮されている様子が伺える結果でした。

項目	回答数	割合
連携・協働したい団体の情報が不足している	14	12.7%
連携・協働したい団体との関係性が構築されていない	21	19.1%
連携・協働を仲立ちする人がいない	12	10.9%
連携・協働をどのように進めていいかわからない	18	16.4%
人的・時間的・金銭的な余裕がない	23	20.9%
自社のみで活動を行うよりも煩雑になる	13	11.8%
その他	9	8.2%
合計	110	100.0%



「その他」の回答内容
当事業との親和性のある活動が実施できること/支援に関する理念の違い/今は自分に余裕がない/特になし（6）

問3-5 貴社として現在取り組んでいる社会貢献・CSR活動について、記入例を参考に具体的な事例を2つまでご記入ください。（自由記述）

【環境保全・自然保護】

道路や河川、公園といった公共用地でのゴミ拾いボランティア等の事例が寄せられました。

市内国道清掃。

自社周辺の環境整備活動（どぶさらい、植栽等）。

年4回、自社周辺の清掃活動を行っている。

月2回程、自社周辺道路を中心に自社社員のみでゴミ拾いの清掃活動をしている。

年4回、国道16号の清掃を実施している。

年4回ほど16号道路清掃を従業員20～30名で行っています。

環境美化活動として、川沿岸の草刈りや不法投棄されたごみの回収に協力している。

自社周辺の環境美化活動（ゴミ拾い）。

地域のごみ拾い活動（月1）。

毎週1回、工場前の歩道清掃を実施（現在はコロナ禍により休止中）。

お昼休みに会社前の国道16号の歩道と中央分離帯のゴミ拾いを定期的に行っていた。

年2回、国道16号沿いの歩道の清掃作業を実施している。

会社前の歩道の除草、水路の大きな流木の除去。

廃棄食材の飼料化、動物の糞や残餌の堆肥化、希少種の繁殖等、環境保全に努めている。

近隣企業と一緒に国道16号の清掃活動を行っている。

千葉工場では年2回ほど自社周辺の16号、297号道路脇の歩道を社員のみで清掃活動。

年1回、会社横にある公園のゴミ拾い。

年数回、所属組合による美化活動として、社員数名を派遣しゴミ拾い。

海岸清掃。

定期的に国道16号清掃を行っている（市、国、企業の3社協定による）。

千葉県管理施設の美化活動（年1回）。

各支店毎に取組内容は異なるが、道路脇の花壇の清掃を行っている。

事業所周辺の道路清掃（月1回程度）。

16号線沿線清掃活動。

年4回ほど自社周辺道路の清掃を行っている。

千葉県より市原市鶴舞にある県有林を借り受け、森の環境保全活動にNPO法人と協力して整備し、里山保全活動を行っている。

製油所に隣接する国道の歩道部分を社員及び協力会社で1回／月、清掃を行っている。

環境美化活動。

【地域イベント】

出店や従業員の派遣による地域活性化、協賛金による運営協力等の事例が寄せられました。

市原市、地元町会等への行事参加。
近隣企業との臨海まつり開催で出店している（本年度はコロナ禍により休止）。
毎週水曜日（雨天中止）にまち美化活動に参加している。
地域イベントに協賛している。
毎年 6 月に行われている五井臨海まつりに参加しています（現在はコロナ禍により休止中）。
犬成神社の祭りに参加（協賛）。
いちはら大収穫祭等のイベントに参加。
冬から春にかけて施設近隣のイベントに毎月 1 回参加し、物品販売を通して地域おこしに貢献している。
イベントの実行委員会には多数協力している。
地域のイベントに参加して町おこしに協力している。協賛金を支払っている。
年 1 回 5 月に八幡臨海まつりを近隣町会と実施。
地域のイベントに参加し、売上金の一部を寄付する（現在寄付する団体を検討中）。
夏祭り参加（現在は休止中）。
近隣の地域イベントに参加。近隣企業 6 社と千種地区連絡協議会として、千種フェスティバル、姉崎門前市等に参加。
本社では海浜幕張駅周辺を 1 回／月ほど「ひろえば街が好きになる運動」のイベントに参加。
市原市 6 0 周年記念事業への協賛。ごみゼロ運動の参加。
いちはらアート×ミックス開催時のボランティア派遣。
各支店毎に取組内容は異なるが、地域行事への参加を行っている。
五井臨海まつりへの出店、参加。
近隣の地域イベントに定期的に参加。
定期的に地域フェアを開催し、ステークホルダーとの連携から地域の活性化を推進している。
八幡臨海まつりにて、運営に弊社社員を送り協力している。
地域で実施するイベント等への協賛。

【災害救護・国際協力】

被災地への支援活動のほか、大規模災害に備えた取組等の事例が寄せられました。

大規模な災害に伴う生活用水の不足を補うため、災害協力井戸の登録をしている。

袖ヶ浦市と防災協定を結んでいる。

大規模災害発生時に寄付金や救援物資の提供。

大規模災害に備えて災害支援に参加。

災害時に所属の組合とともに避難所へのブルーシート配送及び敷き詰め等。

年数回、災害時に道路のパトロールを実施している（実施日R5.1.24、R5.1.27、R5.6.3）。

大規模火災やウクライナ紛争等に対して、来園者より義援金を募り、支援している。

災害被害に備え、限りはあるが配布できるよう救援物資を備蓄している。

災害時の支援物資。

災害が発生した場合に必要な重機、車両のレンタル業。

大規模災害が発生した場合、社員有志による義援金を集めて支援（東日本大震災時）。

コミュニティチャンネルでの災害情報発信。

【まちづくり】

行政やボランティア団体と連携したまちづくり活動の事例が寄せられました。

千葉県が推進する「公共施設等における花きの活用拡大支援事業」に協力し、県内全店舗の店頭に県産花きを活用したフラワーアレンジメントを展示し、来店されたお客さまをおもてなしいたしました。

2年に1度、社員ボランティアを募り、スポレクパークのベンチの塗装、修繕活動し、市原市に寄付している。

ボランティア団体主催の市原はたちトロツコのプロジェクトに協賛し、市原市を「若者が活躍できるまち」に出来るように支援している。

【地域安全】

行政や警察と連携した安全対策、防犯対策を目的とする取組の事例が寄せられました。

タクシー協会市原支部として、市原市や警察等と協力し、イベントや安全運動、犯罪等の情報提供等をしている。

【介護・医療】

医療に必要な血液の安定的な確保に向けた献血活動の事例が寄せられました。

年3回ほど近隣企業にも声掛けをして自社敷地での献血サポーターを行っている。

【食品ロス】

フードバンクへの寄付や食品リサイクルの推進に関する事例が寄せられました。

定期的にフードバンク千葉様へ食品の寄付を行っている。

各企業と協力し、食品ロスを削減する為のリサイクルループの構築（通年）。

【高齢者支援】

警察と連携した高齢者の見守り、防犯対策を目的とする取組等の事例が寄せられました。

朝刊配達時、新聞が高齢者宅で溜まっていたら警察または市に連絡する。

各支店毎に取組内容は異なるが、警察と連携した振り込め詐欺防止の啓発活動を行っている。

高齢者の雇用拡大。

【障がい者支援】

雇用の創出に向けた取組など、障がい者支援のための事例が寄せられました。

年1回程度、障がい者支援センターと採用についてディスカッションを実施。

社会福祉法人に寮、社宅の除草作業を依頼している。

一年休み無く障がい者向けに支援活動を行っている。

【子どもの健全育成・子育て支援】

スポーツや自社の強みを生かして子どもの成長を応援する取組等の事例が寄せられました。

教育CSR活動の実施。

小中学生へのスポーツ大会支援。

県内プロスポーツチームの試合に小学生親子を招待している。

市原市内の小中学生を中心に、バスケットボールを教えるイベントを毎週実施。

毎年秋に実施される市原市少年野球協会の「友遊ボール大会」に協賛し、「〇〇杯」として、当該活動を支援している。

市原ものづくりフェスタ（小学校高学年児童）を受託実施し、児童の科学、理科の興味、地元ものづくり企業への関心、愛着を醸成している。

学校の体験学習（小学校、高校）で施設の提供、ゴルフ指導員のレッスン等を行っている。

子育て支援の目的で行政機関に寄付を行っている。また、子育て家庭に有益な金融商品を扱っている。

各支店毎に取組内容は異なるが、学校への金融教育、児童の登下校時の見守り活動を行っている。

近隣小中学校の職場体験を随時行い、店舗で取り組む太陽光パネルの見学やフードドライブの取り組み等を紹介し、共有している。

千葉ロッテマリーンズを通じ、市原市の小学校、中学校に消毒液、ハンドソープを寄付している。

市原市の小学生を招待し、5回／年、環境教育事業を2008年より実施している。

【スポーツ】

スポーツクラブへの金銭的支援をはじめとする応援活動の事例が寄せられました。

地元のサッカー、ソフトボールチームVONDS市原のパートナーとなっている。
「ボンズ市原」に遠征費用の寄付。
水泳のアマチュアスポーツクラブに金銭的支援。

【その他（経営支援、寄付金、募金等）】

企業への経営支援や特定の活動を支援するための寄付金、募金等の事例が寄せられました。

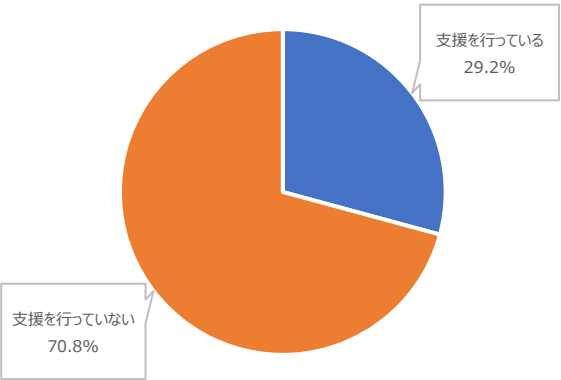
地元中小企業、小規模事業者、企業者への経営支援（経営相談、コンサル）を実施している。
寄付金や協賛金、保険付保、リスクコンサル等。
改善事例発表会を毎年企画、実施をして、地元企業を中心に生産性向上活動や経営改善活動の啓蒙、ノウハウの共有化を図っている。
千葉県社会福祉協議会、地域のイベントへ協賛、千葉大みらい基金等に金銭で寄付等を行っています。
県立技術専門校に協力している。
各種募金活動。

（４）従業員のボランティア活動への支援について

問４-１ 貴社の従業員のボランティア活動への支援状況についてご回答ください。

「支援を行っている」と回答した企業は２９．２％でした。問３-４（団体と連携・協働するにあたっての課題）の回答でも「人的・時間的・金銭的な余裕がない」が最も高い割合であったように、社内体制や経営状況が支援体制の整備に大きく影響していることが伺える結果でした。

項目	回答数	割合
支援を行っている	26	29.2%
支援を行っていない	63	70.8%
合計	89	100.0%

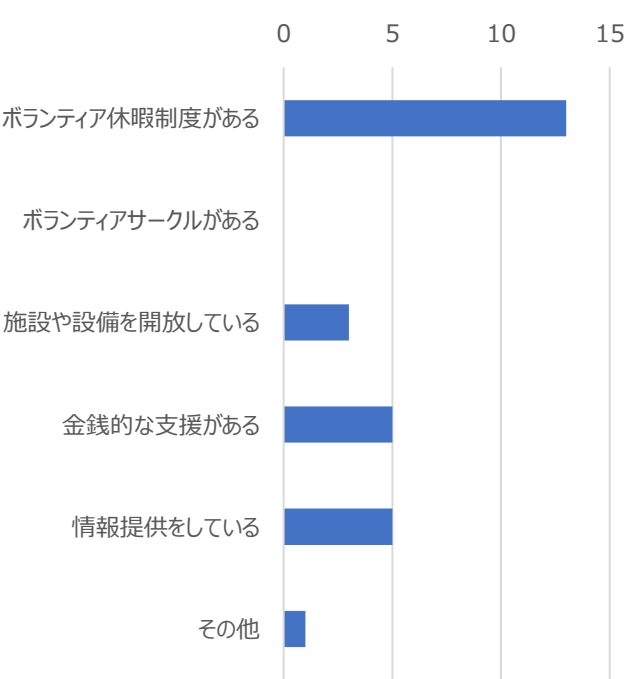


問４-２ 貴社として従業員のボランティア活動を促進するために取り組んでいることについてご回答ください。

（複数回答 N＝27）

「ボランティア休暇制度がある」が４８．１％と最も割合が高く、２番目に「金銭的な支援がある」と「情報提供をしている」が１８．５％、３番目に「施設や設備を開放している」が１１．１％でした。回答のあった取組の具体的な内容は以下のとおりです。

項目	回答数	割合
ボランティア休暇制度がある	13	48.1%
ボランティアサークルがある	0	0%
施設や設備を開放している	3	11.1%
金銭的な支援がある	5	18.5%
情報提供をしている	5	18.5%
その他	1	3.7%
合計	27	100.0%



「その他」の回答内容
消防団、地域活動への参加

【ボランティアの休暇制度がある】

ボランティア休暇として1. 5日分の休暇が取れる制度。

職員の自発的な地域貢献活動を支援するため、ボランティア休暇制度を策定した。

ライフサポート休暇で使用可。

年5日を限度とし、積立休暇により使用できる。

ボランティア参加も事由に含むサポート休暇を年5日付与しています。

ボランティア活動を目的として特別積立休暇を年5日以内利用するを認めている。

有給休暇の取得。

2日／年の休暇。

社会福祉領域、地域活動領域。

【金銭的な支援がある】

コーチを行っている社員への手当を支給。

経営コンサル活動をした場合、申請すれば、謝金、交通費を支給している。

休日に行う場合は、交通費、弁当を支給。平日業務中に行う場合は、会社行事として社会環境貢献活動を行う。

業務としてボランティアに参加させている。つまり給料を払ってボランティア活動をしている。

【情報提供をしている】

地域ボランティアの方々への協力（従業員に情報提供し、協同作業）。

行政主催のボランティア行事の情報を提供している。

【施設や設備を開放している】

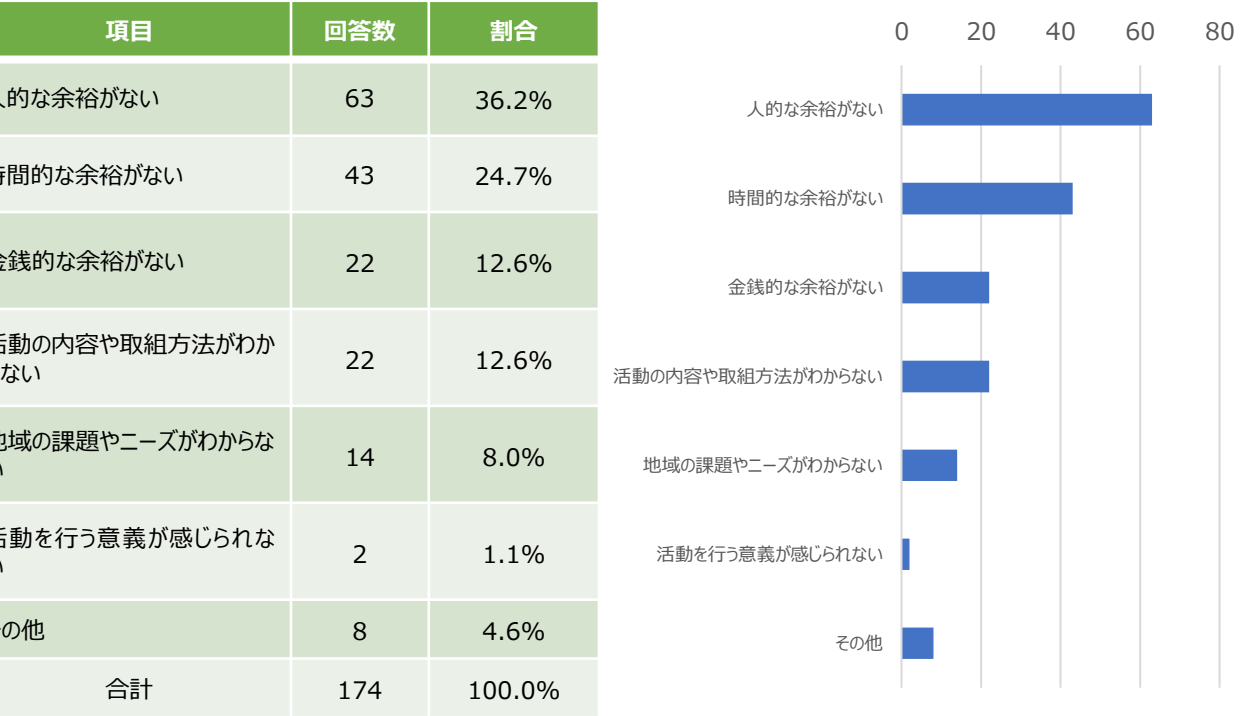
弊社事務所等の施設を無料開放している。

社有施設、設備の無料貸し出し。

（５）社会貢献・ＣＳＲ活動や従業員のボランティア活動支援における課題について

問５-１ 貴社が社会貢献・ＣＳＲ活動や従業員のボランティア活動支援に取り組むにあたり、課題と思われることについてご回答ください。（複数回答 N＝174）

「人的な余裕がない」が36.2%と最も割合が高く、2番目に「時間的な余裕がない」が24.7%、3番目に「金銭的な余裕がない」と「活動の内容や取組方法がわからない」がそれぞれ12.6%でした。「人的」、「時間的」、「金銭的」に余裕がないとの回答が全体の73.5%を占める結果でした。



「その他」の回答内容

- ・従業員本人が積極的になれるか
- ・当事業との親和性のある活動が実施できること
- ・限られた団体としか共同できていない
- ・経営コンサルではIT、DXの専門家が不足しており、育成も課題
- ・社会貢献活動の参加率100%を目指しているが、業務上参加できない人もいる
- ・自分に余裕が出来たら、当社の繁忙期に当たらなければ色々取り組んでいけると思います
- ・出来ることを出来る範囲で行っており、特に問題は無し
- ・特になし

問 5 - 2 貴社として社会貢献・C S R 活動や従業員のボランティア活動支援に力を入れるためにあると良いと思われる支援や環境について、お気づきの点がございましたら、ご記入ください。（自由記述）

【活動環境の整備・支援に関すること（社内）】

従業員の活動への参加を支援、奨励するための休暇制度や従業員のモチベーションの維持、社内での人的支援に関する意見が寄せられました。

ボランティア休暇制度。
今活動している社員は、サークルにて活動、弊社は有給休暇の付与。
ボランティア活動の時間は賃金を払ってもよいが、労働時間から除外して欲しい。
今は働き方改革を進めている時で、社員に対し仕事時間外にボランティアの気持ちを持たせるのが難しいです。
現在営業範囲は他県が主で実際従業員は東京、茨城の事務所勤務で千葉は本社であるが仕事は経理事務 1 名で従事。
本部の人的支援等があると活動しやすい。
まずは人員が必要です。その後、業務に支障を出さないようなシフトを組み支援活動の時間を作ることが大切だと感じております。

【活動環境の整備・支援に関すること（社外）】

企業が活動に取り掛かりやすくなるよう、行政や社会福祉協議会等によるバックアップ体制の整備、充実を期待する意見が寄せられました。

当方は N P O 法人であるが、会員（社員）が高齢化し、若い専門家（65 歳以下）が中々入会しないため、慢性的な人手不足（専門家不足）である。そのため、（弊 N P O の様な）分野、半ボランティア活動を希望する方とのマッチングイベントの開催や組織（千葉市生涯現役応援センター等の公共団体の組織）があれば有難い。市原市にはない。現状は、口コミ応募と千葉市生涯現役応援センターからの照会で入会（入社）する人がわずかにいる程度。
行政主導（ボランティアメニュー、スケジュールリング、ボランティア保険等）により、企業が気軽に従業員を斡旋できる体制整備。参加実績の公表も効果的。
社会貢献・C S R 活動に注力するには地方自治体の協力が不可欠であると考えます。
社会福祉協議会の P R をもっとした方が良い。ボランティア保険の制度もっと知らしめた方が良い。
定期的に、認知症サポーター養成講座や救急救命講習が開催されているとよい。

【情報支援に関すること】

企業に求められている活動や参加しやすい活動の紹介、企業への個別の働きかけを希望する意見が寄せられました。

地域として協力できる部分の情報についてご教授願います。
社員が参加しやすい活動の紹介。
できればアプローチしていただくと助かります。
企業への周知、支援参加企業を指名する等。

【広報支援に関すること】

企業が取り組む活動を広く市民に周知、理解してもらうための広報活動や活動を公表、評価する仕組みに関する意見が寄せられました。

小さな子から高齢者まで幅広い世代に当社事業のPRができること。

活動を市民に認知させる。

ボランティア参加企業の公表方法と表彰制度の策定による周知を図る。

【その他】

CSR活動ってなに？CSRって？なんでわざわざ意味不明なCSRなんて略してるの？

経済状況がこれ以上悪化しないこと。

考える余裕がない。

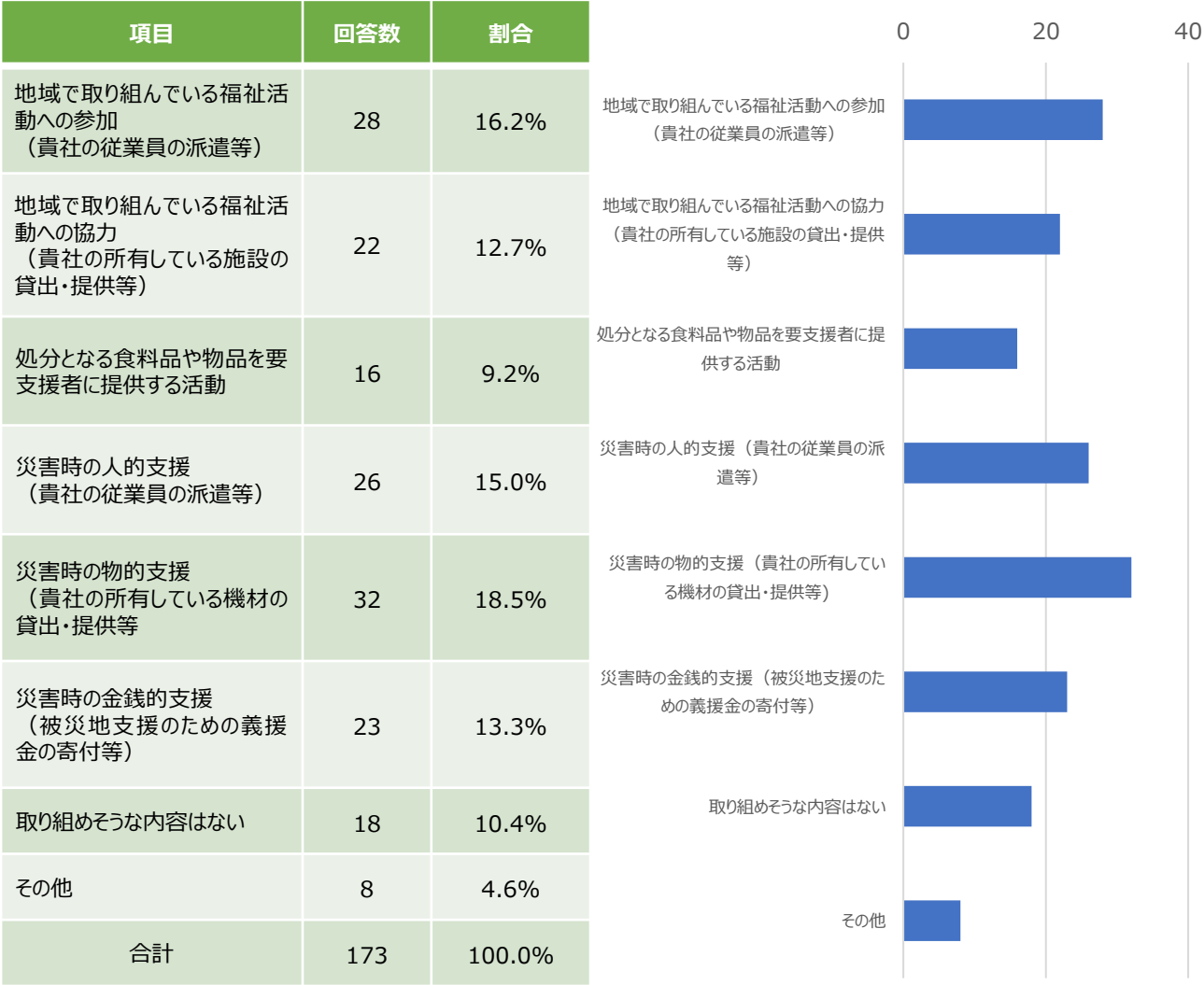
分かりません。

特になし。（6）

（６）今後取り組むことができそうな社会貢献・ＣＳＲ活動について

問６ 貴社として「福祉分野」に関する取組について、どのような取組でしたら今後新たに社会貢献・ＣＳＲ活動を行うことが可能だと思いますか。（複数回答 Ｎ＝１７３）

「災害時の物的支援」が１８．５％と最も割合が高く、２番目に「地域で取り組んでいる福祉活動への参加」が１６．２％、３番目に「災害時の人的支援」が１５．０％でした。「災害時の物的支援」と「災害時の人的支援」に「災害時の金銭的支援」を加えると、全体の４６．８％が災害時の支援活動に関する回答でした。



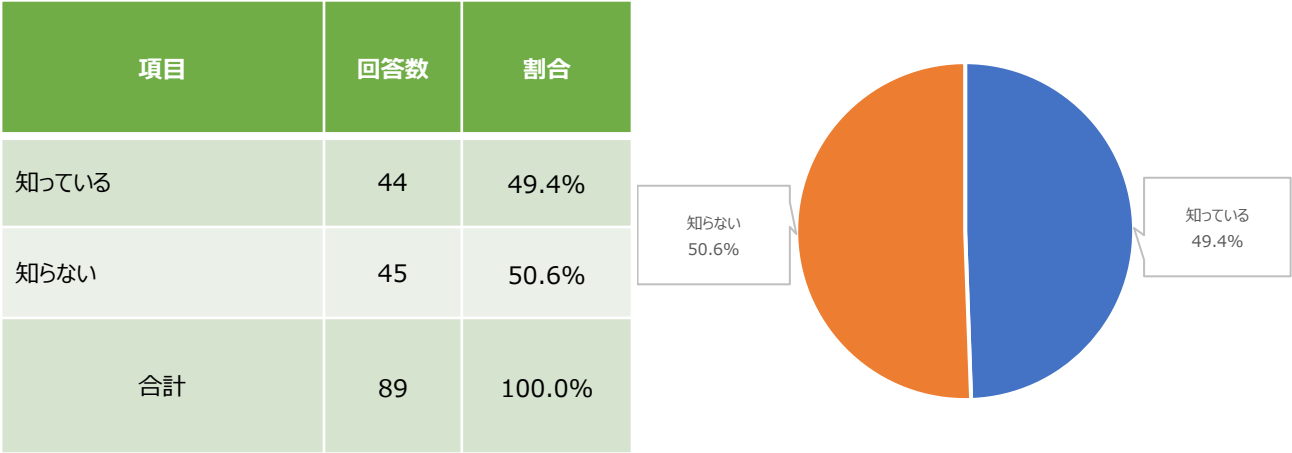
「その他」の回答内容

- ・高齢者を対象とした買い物支援、移動支援
- ・中小企業者、小規模事業者の事業継承支援
- ・当事業との親和性のある活動が実施できること
- ・様々な地域情報の提供
- ・原状の活動で十分だと考えている
- ・現行の範囲内で実施
- ・現状維持
- ・具体的なイメージがわからない

（７）市原市社会福祉協議会について

問 7-1 市原市社会福祉協議会の目的・役割や実際の活動内容をご存じでしたか。

「知っている」が 49.4%、「知らない」が 50.6%とほぼ同数となる結果でした。



問 7-2 市原市社会福祉協議会に対するご意見・ご要望等ございましたら、ご記入ください。（自由記述）

H Pを拝見して、概要は理解しました。企業としてどのように関わり、貢献できるのか検討したいと思います。

当 N P Oはズバリの福祉関係の活動ではないので、貴協議会のこの分野でのさらなる活動を期待しています。

今回、市原市社会福祉協議会様がいろいろな取り組みにご尽力くださっていることを知りました。勉強不足で申し訳ございませんでした。地域にとって必要な取り組みだと感じました。今後何か協力出来ればと思います。ありがとうございます。

近年殆どお付き合いする機会がありません。一度お話を聞きたいと思います。

松ヶ島や千種地区にも社協が欲しい。

フードドライブやイベントの開催でお世話になっております。今後とも、引き続きよろしくお願い致します。

C S R 活動について期待されている活動の骨格が見えると良い。内容が広すぎではないかと思う。

今回のアンケート結果について共有できる範囲で構いませんので報告いただけましたら幸いにございます。

税金無駄に使うなよ。